

(様式2(1))

事業所名 グループホームおっこう山

目標達成計画

作成日: R7年 4 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	7	認知症の人の権利擁護は社会的課題でもあり、今後制度のニーズは高まると予想されます。専門家を講師に招く研修を実現され、職員の理解を深めていかれることを期待します。	成年後見人制度の勉強会を講師を招き実施し、職員の制度に関する理解を深める。	今まで関わったことのある行政書士、司法書士の方に講師を依頼する。できるだけ多くの職員が受講できるようにする。 欠席の職員は資料等を配布し参加した職員から説明をする。	12ヶ月
2	9	利用者が写っている複数の写真を定期的に家族へ送って様子を報告し、喜ばれていることは高く評価したいです。人手確保のご苦労があると思いますが、今後も継続されることを期待します。	現状の報告方法を再度検討し、より生活の様子がわかるように発信していく。	広報委員会にて現状のお便り等を検証する。 おっこう山便りの内容も再検討する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。